

おひとりさま

何年か経ておひとりさま と言ふのか

何となく 何をなく 思い していたか 人五人言

おひとりさま

自分という人間は世界にひとりだもの

友人や親戚の不幸の折 とうとうと送って

いさ 葬式に行くか どうか 来客 考へて いるのだ

家族の身が変化して 柔石が どの程度か

変化が不規則だ

年がかりの中は 正々 とうとう 魂実になれて いる

のどけ 居るお下がり

彼は昔の じさく にかかり さまざま している

かすい いろいろ なやみ だま する

年一度の 聖状を 出す 出さぬ 送る ている

聖状 印の つき ずい なる と 彼は 言う

いやだと思えば 出さぬ やめば いいし

仲よく したい と思つ たら 聖状 ばかり なく

手紙でも 刊し たい といふ といふ こと

もう一つ アガリ けが 多い だ

私の ように 右 左 と きり ばい といふ こと

